

けんしん半期ディスクロージャー誌 (令和2年4月～令和2年9月)



「けんしん半期ディスクロージャー誌(令和2年4月～令和2年9月)」は当組合が上半期の事業実績を開示するものです。福島県商工信用組合は「相互扶助」の理念のもとに、地域の生活者・中小企業・小規模事業者を応援し、地域の皆さまのご預金を地域のために還流する金融仲介機能を果たしてまいりました。今後も組合員の皆様・地域の皆様と共に、より良い地域社会の創造を目指してまいります。

令和2年11月30日
福島県商工信用組合

本宮支店再オープン

令和元年10月12日から13日にかけて福島県を通過した台風19号により、けんしん本宮支店は大きな被害を受けました。

当時の本宮支店は、台風による阿武隈川の氾濫や安達太良川の堤防決壊などの影響で支店の屋根まで冠水し、丸1日水が引かない状況でした。営業室内・金庫室内が水没し、全ての電気設備が使用不可能になりました。翌営業日である10月15日は年金振込日でもあり、多くのお客様がご来店頂く日ですので、職員一丸となって店舗内の清掃をいち早く行い、簡易的な窓口を設置しました。その後、10月23日に直線距離約9キロに位置し、倉庫として利用していた旧日和田支店を仮店舗とし、お客様の利便性の確保に努めました。

令和2年4月6日に地域のお客さまからの強い要望を受け、被災した本宮支店と同じ場所に支店を再オープンしました。

改装した店舗は、お客さまに身近に感じてもらえるよう、店内はカウンターをなくし、ロビーを広くして開放的な空間にしました。

水害を忘れないため、水没して電源が喪失した時間で止まっている屋外の時計はメモリアルモニュメントとしてそのまま残しております。

今後は被災した経験を活かし、金融・相談を通じて、地域経済の発展に貢献してまいります。

被災当時の本宮支店



新型コロナウイルス感染症拡大への対応

けんしんでは、新型コロナウイルス感染拡大に際し、顧客事業所等への訪問が自粛される中で、取引先2,969先の事業所に対し、支援の為電話による影響のヒアリングを実施しました。

令和2年2月27日付でプロパー融資「新型コロナウイルス感染症対応特別融資」2種類を制定し、法人事業者・個人事業主向けに緊急融資の取扱いを開始し、3月6日に金融担当大臣談話「新型コロナウイルス感染症の影響拡大を踏まえた事業者の資金繰り支援について」の趣旨を全店に周知しました。

令和2年3月9日より福島県において新型コロナウイルス感染症対応の特別資金が創設され取扱いを開始しました。条件が合致しない先については「ふくしま復興特別資金」を利用することで対応をしました。4月14日からは新型コロナウイルス感染症の影響に係る「条件変更手数料」の無料化を開始しました。5月の大型連休中には、本店・須賀川支店・南福島支店の3店舗を「新型コロナウイルス感染症の影響に係る相談窓口」として設置し、顧客対応をいたしました。

令和2年5月1日からは「福島県新型コロナウイルス対策特別資金(実質無利子型)」が創設されたことから、当組合では前もってヒアリングをしていた先に同制度の案内をし、利用希望を確認しました。その結果、想像以上の需要があることが分かり、それを受けて、本部職員による営業店支援体制を強化する他、各店より選抜した「融資上級研修者」10名を申込の多い店舗にスケジュールを組んで早期実行の為、支援に当たっています。

お客さまの資金繰り対応の他、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、職場内での感染予防対策の徹底として通常の清掃に加えて手の触れる箇所の消毒の徹底を行い、記帳台・ATMコーナー・窓口カウンターに消毒液を置き、利用の推進をいたしました。3つの「密」防止のため、定例の会議や外部との会議ではオンラインを活用したウェブ会議を行いました。理事会や総代会などの開催に際してはアクリルボードでの仕切りを行い、できる限りの対策を実施しております。



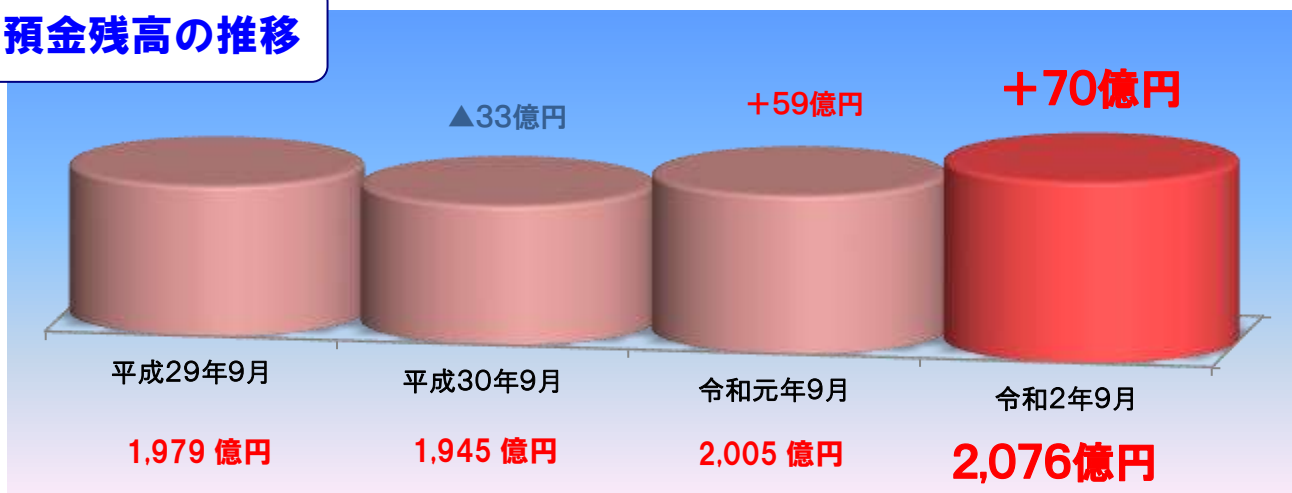
令和2年度上半期の業績

預金残高は**2,076億円**（法人預金の増加等により、前年同月比**70億円**増加）

預金は、定期預金や定期積金、年金を中心とした地域密着の営業活動を行いました。個人預金の伸び悩みがありました。法人預金が大きく増加しました。

令和2年9月末の預金残高は207,617百万円、前年同月比7,081百万円の増加、増加率3.5%となりました。

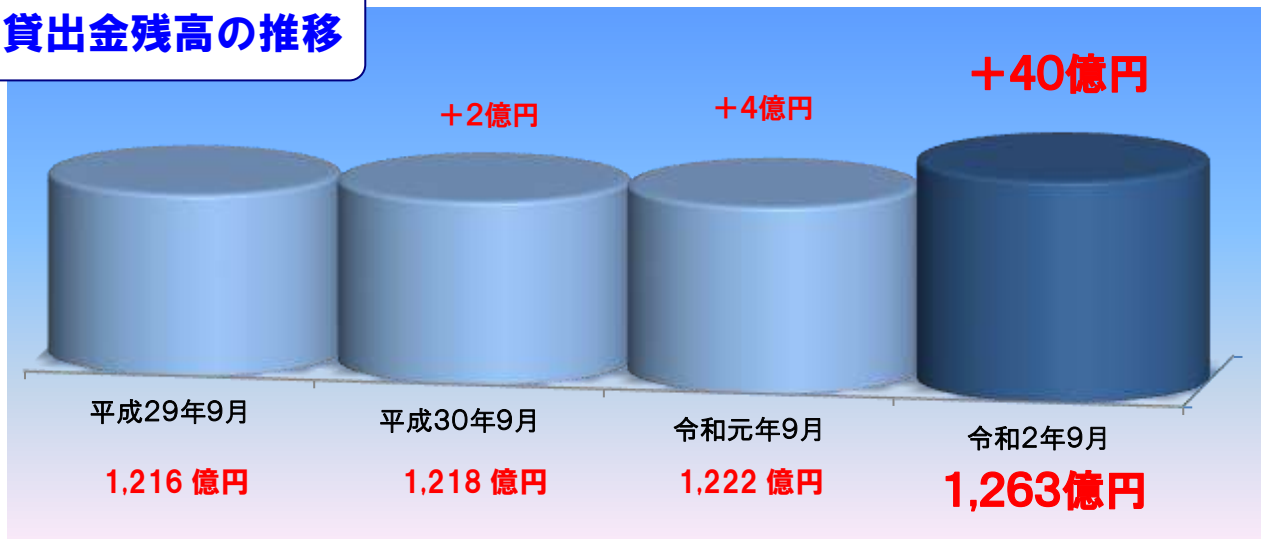
預金残高の推移



貸出金残高は**1,263億円**（事業性融資を中心に、前年同月比**40億円**増加）

貸出金は、地域の事業者の皆様に対し、国や県の制度資金や信用保証協会との連携による融資を中心に、積極的に対応してまいりました。特に新型コロナウイルス対策融資を積極的に行い、令和2年9月末の貸出金残高は126,357百万円、前年同月比4,063百万円の増加、増加率3.3%となりました。

貸出金残高の推移

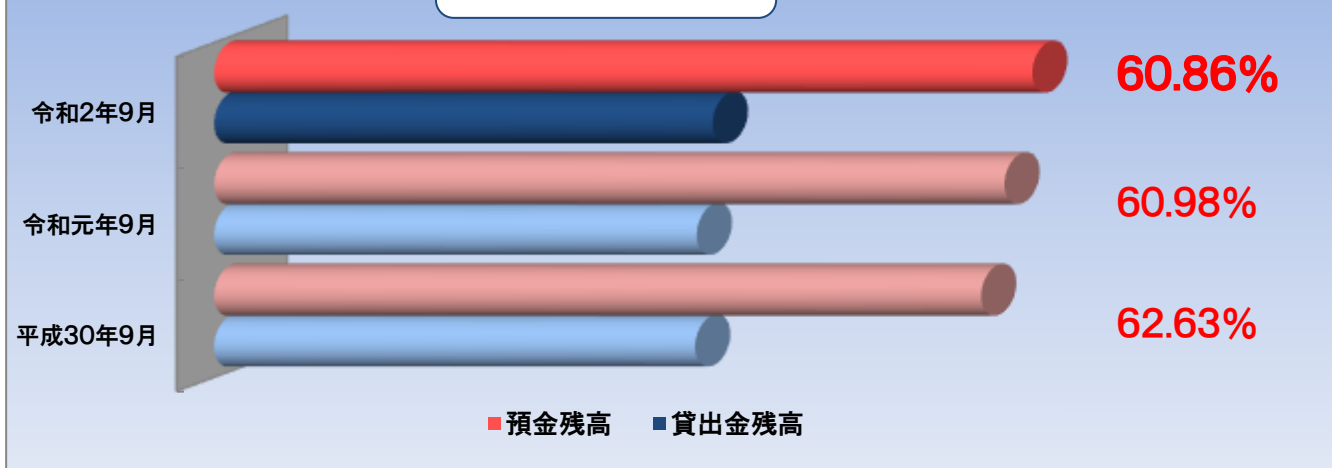


令和2年度上半期の業績

預貸率は**60.86%**(前年同月対比**0.12**ポイント低下)

けんしんは、皆様からお預かりした預金を貸出金として地域に還流させることが最大の地域貢献であると考えています。令和2年9月の預金に対する貸出金の割合「預貸率」は、前年同月対比0.12ポイント低下し60.86%となりました。

預貸率の推移



経常利益は**11**百万円、当期純利益は**28**百万円

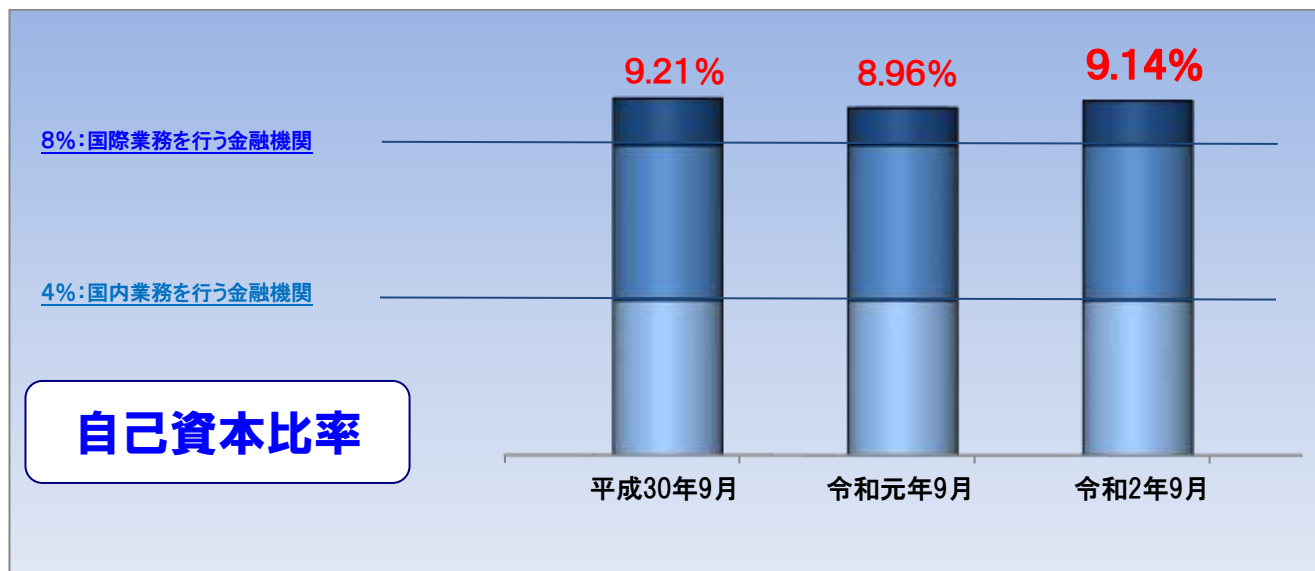
経常収益が貸出金利息の減少や保険配当金の減少などの影響で減少し、また経常費用が経費の増加や貸倒引当金の増加などの影響で増加したことから、経常利益は前年同月比109百万円減少し11百万円となりました。当期純利益については、前年同月比90百万円減少し28百万円となりました。

	令和元年9月	令和2年9月
経常収益	1,427百万円	1,364百万円
業務純益 (金融機関本業での利益)	175百万円	103百万円
コア業務純益 (業務純益から一時的な変動要因 (国債等債券関係損益等)の影響を除いた利益)	179百万円	103百万円
経常利益	120百万円	11百万円
当期純利益	118百万円	28百万円

令和元年度上半期の業績

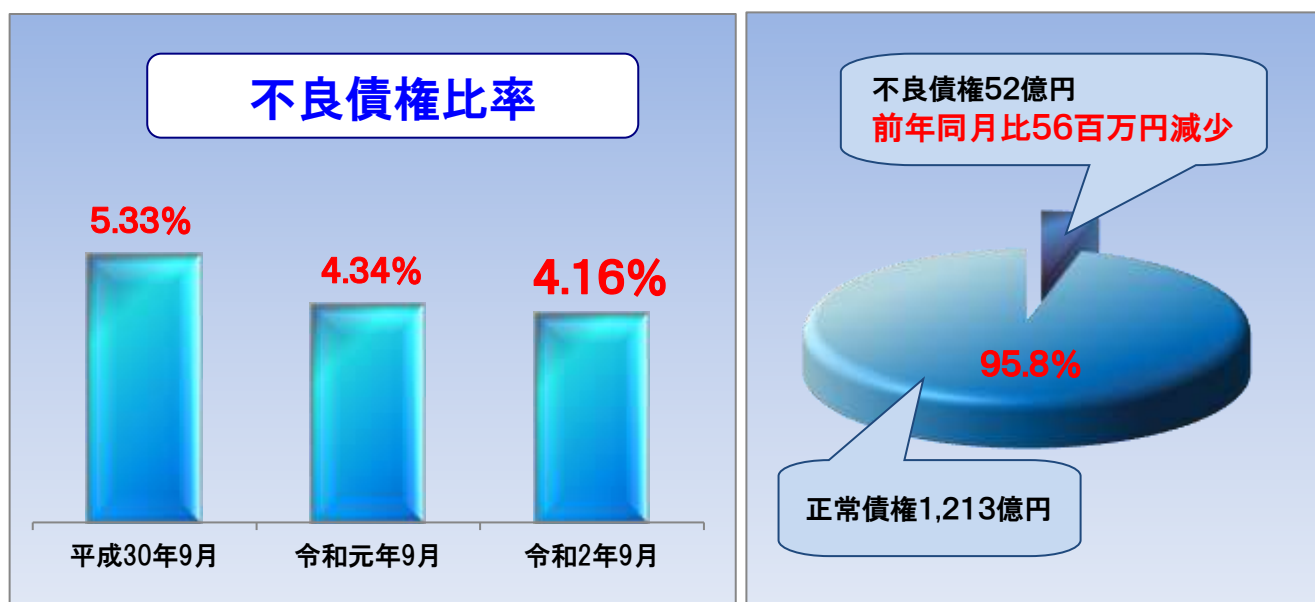
自己資本比率は**9.14%** (前年同月対比**0.18**ポイント上昇)

金融機関の健全性を表す自己資本比率は、保証協会付融資の増加によりリスクアセットが減少したことなどにより、前年度と比べ0.18ポイント上昇し、9.14%となりました。けんしんの自己資本比率は国内基準(4%)を上回っています。



不良債権比率は**4.16%** (前年度対比**0.18**ポイント改善)

金融再生法開示債権における不良債権比率(総与信残高に占める不良債権の割合)は、金融円滑化への取組み・貸出債権の正常化の取組みにより、不良債権額が56百万円減少し、不良債権比率は0.18ポイント改善し、4.16%となりました。



けんしんの事業活動

主な事業活動(令和2年4月～令和2年9月)			
4月6日	本宮支店改装オープン	6月8日 ～9日	総代に対する決算説明会
4月20日	朝日支店移転オープン (本店営業部店舗内店舗)	6月17日	第66期通常総代会 総代親睦会総会
5月2日 ～6日	新型コロナウイルス 相談窓口設置	7月9日	臨時総代会(役員2名選挙)
5月29日	田村市・第一勧業信用組合と 地域創生包括協定を締結	7月28日	福島県へ新型コロナ対策として 140万円を寄贈



田村市・第一勧業信用組合と連携協定

けんしんは、田村市、第一勧業信用組合(東京)と持続可能なまちづくりや産業振興を目的として、地方創生に関する包括連携協定を令和2年5月28日に締結しました。

今後は田村市産品の販路拡大や雇用創出、経営者の交流、観光PRなどを協力して取り組み、第一勧業信用組合の首都圏でのネットワークを活かして、経済活動の拡大・地域活性化を目指して交流してまいります。



第66期通常総代会 臨時総代会

令和2年6月17日に第66期通常総代会を当組合本部5階大ホールで開催しました。

当日は総代118名のうち、出席65名、議決権行使書提出者53名のもと、全議案が可決・承認されました。また、7月9日には臨時総代会を開催し、理事2名の選挙に関する件等を可決・承認いたしました。

消毒やアクリルボードの設置等新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮を行いました。

けんしんでは例年、地域のお客様との交流「イベント」、事業者のお客さまとの勉強会を中心とした「十店会活動」、地域に花木や朝顔の苗木を配布する「緑のまちづくり運動」などを積極的に行っておりましたが、今年度の開催は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、ほとんどが延期、あるいは中止となりました。

けんしんでは新型コロナウイルス感染症拡大を防ぐため、「新しい生活様式」の実践を行っており、定着に向けて様々な対策に取り組んでいます。

今後の各種行事の再開については、地域の安全を第一に考え、新しい交流の形を検討して参ります。



主要経営情報

資産・負債及び純資産の状況(貸借対照表)

(単位:百万円)

科 目	令和元年9月	令和2年9月	科 目	令和元年9月	令和2年9月
(資産の部)			(負債の部)		
現金	1,507	1,473	預金・積金	200,535	207,617
預け金	75,667	79,933	当座預金	235	322
有価証券	7,142	6,466	普通預金	55,724	66,355
国債	—	—	貯蓄預金	3	84
地方債	3,785	2,125	通知預金	2	2
社債	3,305	4,294	別段預金	679	441
株式	49	44	納税準備預金	4	5
その他の証券	1	1	定期預金	129,751	126,677
貸出金	122,294	126,357	定期積金	14,133	13,727
割引手形	546	406	借入金	—	700
手形貸付	8,502	6,860	当座借越	—	700
証書貸付	109,000	115,729	その他負債	338	468
当座貸越	4,244	3,362	未決済為替借	34	26
その他資産	823	896	未払費用	53	41
未決済為替貸	8	7	給付補填備金	20	10
全信組連出資金	300	300	未払法人税等	0	0
前払費用	10	11	前受収益	82	77
未収収益	151	140	払戻未済金	—	—
その他の資産	353	436	職員預り金	3	3
有形固定資産	3,416	3,450	リース債務	92	81
建物	1,293	1,259	資産除去債務	8	8
土地	1,942	1,970	その他の負債	44	217
リース資産	92	81	賞与引当金	17	22
建設仮勘定	—	64	退職給付引当金	69	75
その他の有形固定資産	87	75	役員退職慰労引当金	175	157
無形固定資産	14	17	睡眠預金払戻損失引当金	22	8
ソフトウェア	1	6	偶発損失引当金	1	1
その他の無形固定資産	12	11	債務保証	245	168
繰延税金資産	352	342	負債の部合計	201,405	209,218
債務保証見返	245	168	(純資産の部)		
貸倒引当金	△1,918	△1,830	出資金	5,826	5,794
(うち個別貸倒引当金)	(△1,810)	(△1,732)	普通出資金	5,826	5,794
			利益剰余金	2,253	2,240
			利益準備金	1,475	1,494
			その他利益剰余金	777	746
			特別積立金	605	655
			当期末処分剰余金	172	91
			組合員勘定計	8,079	8,034
			その他有価証券評価差額金	60	23
			評価・換算差額等合計	60	23
			純資産の部合計	8,140	8,057
資産の部合計	209,545	217,276	負債及び純資産の部合計	209,545	217,276

※金額は、単位未満を切り捨てて表示しております。(以下の各表における金額についても同様であります。)

主要経営情報

利益及び損失の状況(損益計算書)

(単位:千円)

科目	令和元年9月	令和2年9月
経常収益	1,427,804	1,364,992
資金運用収益	1,250,287	1,205,934
貸出金利息	1,187,710	1,144,887
預け金利息	43,876	41,913
有価証券利息配当金	9,100	9,519
その他の受入利息	9,600	9,614
役務取引等収益	115,537	127,251
受入為替手数料	31,606	30,502
その他の役務収益	83,931	96,749
その他業務収益	58,061	24,287
その他の業務収益	58,061	24,287
その他経常収益	3,918	7,518
償却債権取立益	2,157	640
株式等売却益	—	1,971
その他の経常収益	1,761	4,907
経常費用	1,306,968	1,353,608
資金調達費用	54,181	42,576
預金利息	50,268	39,041
給付補填備金繰入額	3,895	3,516
その他の支払利息	18	18
役務取引等費用	204,972	191,221
支払為替手数料	19,903	17,352
その他の役務費用	185,068	173,869
その他業務費用	3,025	2,573
経費	986,710	1,022,008
人件費	590,722	606,255
物件費	380,206	399,210
税	15,780	16,543
その他経常費用	58,079	95,228
貸倒引当金繰入額	56,449	93,438
その他の経常費用	1,629	1,790
経常利益	120,835	11,383
特別利益	20	19,788
固定資産処分益	20	32
その他の特別利益	—	19,755
特別損失	0	19
固定資産処分損	0	19
税引前当期純利益	120,856	31,152
法人税、住民税及び事業税	2,243	2,186
当期純利益	118,612	28,966
繰越金(当期首残高)	54,363	62,154
当期末処分剰余金	172,976	91,121

科目	令和元年9月	令和2年9月
業務純益	175,298	103,814
コア業務純益	179,481	103,687
コア業務純益(除く投資信託解約損益)	179,481	103,687
業務粗利益	1,161,706	1,121,101

主要経営情報

預金・貸出金の状況

(単位:百万円)

		令和元年9月	令和2年9月
預金	期末残高	200,535	207,617
	期中平均残高	198,955	199,520
貸出金	期末残高	122,294	126,357
	期中平均残高	121,871	124,484

預金・貸出金の人格別残高

(単位:百万円)

		令和元年9月	令和2年9月
預金	個人	128,930	128,943
	法人	38,218	48,163
	公金	33,385	30,509
貸出金	個人	44,126	43,578
	事業者	61,012	65,941
	地方公共団体	17,154	16,838

業種別貸出金残高

(単位:百万円、%)

	令和元年9月		令和2年9月	
	金額	構成比	金額	構成比
製造業	4,890	3.9	5,118	4.0
農業、林業	829	0.6	677	0.5
漁業	39	0.0	47	0.0
鉱業、碎石業、砂利採取業	—	—	—	—
建設業	11,648	9.5	13,924	11.0
電気・ガス・熱供給・水道業	94	0.0	110	0.0
情報通信業	510	0.4	543	0.4
運輸業、郵便業	4,165	3.4	5,030	3.9
卸売業、小売業	6,346	5.1	6,877	5.4
金融業、保険業	261	0.2	272	0.2
不動産業(アパート等賃貸業含)	15,457	12.6	15,388	12.1
物品賃貸業	327	0.2	336	0.2
学術研究、専門・技術サービス業	770	0.6	870	0.6
宿泊業	1,879	1.5	1,987	1.5
飲食業	1,317	1.0	1,563	1.2
生活関連サービス業、娯楽業	1,680	1.3	2,340	1.8
教育、学習支援業	618	0.5	546	0.4
医療、福祉	2,344	1.9	2,209	1.7
その他のサービス	6,792	5.5	7,165	5.6
その他の産業	1,037	0.8	929	0.7
小計	61,012	49.8	65,941	52.1
地方公共団体	17,154	14.0	16,838	13.3
個人	44,126	36.0	43,578	34.4
合計	122,294	100.00	126,357	100.00

主要経営情報

金融再生法開示債権の状況

(単位:百万円)

	令和元年9月	令和2年9月
破産更正債権及びこれらに準ずる債権	2,993	2,758
危険債権	2,310	2,492
要管理債権	25	22
不良債権計	5,329	5,273
正常債権	117,319	121,351
合計	122,648	126,624
不良債権比率	4.34%	4.16%

- 「破産更正債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債権及びこれらに準ずる債権です。
- 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
- 「要管理債権」とは、「3ヶ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。
- 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に問題がない債権で、「破産更正債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権です。
- 令和元年9月末の「破産更正債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」の金額は、平成31年3月末時点における債務者区分を前提とし、9月末までの間に倒産、不渡り等の客観的な事実があった債権について、当組合で定める「自己査定基準」に基づき債務者区分の見直しを行い、債務者区分の変更と認められる額を反映させます。

有価証券の状況

(単位:百万円)

		令和元年9月	令和2年9月
有価証券	取得価額または契約価額	7,058	6,434
	時価	7,142	6,466
	評価損益	83	31
うち地方債	取得価額または契約価額	3,751	2,101
	時価	3,785	2,125
	評価損益	33	23
うち公社公団債	取得価額または契約価額	1,422	2,461
	時価	1,461	2,464
	評価損益	38	3
うち事業債	取得価額または契約価額	1,833	1,825
	時価	1,844	1,830
	評価損益	11	4

※「金銭の信託」「デリバティブ商品」の取扱いはありません。

出資金の状況

	令和元年9月	令和2年9月
出資金残高	5,826百万円	5,794百万円
うち優先出資金	—	—
組合員数	47,475人	46,195人
員外預金比率	3.98%	4.27%

主要経営情報

自己資本比率の状況

(単位:百万円)

項目	令和元年9月	令和2年9月
● コア資本に係る基礎項目		
普通出資又は非累積的永久優先出資に係る組合員勘定の額	8,079	8,034
うち、出資金及び資本剰余金の額	5,826	5,794
うち、利益剰余金の額	2,253	2,240
うち、外部流出予定額(△)	—	—
うち、上記以外に該当するものの額	—	—
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	109	98
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	109	98
うち、適格引当金コア資本算入額	—	—
コア資本に係る基礎項目の額 (イ)	8,188	8,133
● コア資本に係る調整項目		
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く)の額の合計額	10	13
うち、のれんに関するものの額	—	—
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るもの以外の額	10	13
コア資本に係る調整項目の額 (ロ)	10	13
● 自己資本		
自己資本の額 ((イ)-(ロ)) (ハ)	8,178	8,120
● リスク・アセット等		
信用リスク・アセットの額の合計	86,178	83,744
資産(オン・バランス項目)	86,044	83,647
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	—	—
うち、無形固定資産(のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)	—	—
うち、繰延税金資産	—	—
うち、前払年金費用	—	—
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	—	—
うち、上記以外に該当するものの額	—	—
オフ・バランス等取引項目	133	97
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を8パーセントで除して得た額	5,022	5,016
信用リスク・アセット調整額	—	—
オペレーショナル・リスク相当額調整額	—	—
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	91,200	88,761
● 自己資本比率		
自己資本比率((ハ)/(ニ))	8.96%	9.14%

(注) 自己資本比率の算出方法を定めた「協同組合による金融事業に関する法律第6条第1項において準用する銀行法第14条の2の規定に基づき、信用協同組合及び信用協同組合連合会がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第22号)に係る算式に基づき算出しております。なお、当組合は国内基準を採用しております。

新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐために

新しい 生活様式 を実践しています。

新型コロナウイルス感染症の拡大を防ぐためには、今後も長い期間の対策が必要です。
そのために、私たちは「新しい生活様式」の定着に向けて様々な対策に取り組んでいます。

私たちは下記の行動を実践しています。



(状況に応じて)
マスクの着用



手洗い・
手指衛生の徹底



消毒液の設置



消毒・洗浄



健康管理の徹底



三密の回避



換気の徹底



距離を取る



会話は控えめに



パーティションや
仕切りの設置



オンライン会議
の推進



誰とどこで
会ったかメモ



座席数を減らす



(業種別の)
ガイドラインの
対策徹底

福島県商工信用組合

福島県商工信用組合 SDGs 宣言

当組合は、国連が提唱する持続可能な開発目標（SDGs）
達成のため、次の項目に取り組んで参ります。

 <p>17 パートナースhipで 目標を達成しよう</p> <p>地域経済</p>	 <p>11 住み続けられる まちづくりを</p> <p>地域社会への貢献</p>
<p>創業支援・事業再生支援</p>	<p>地元企業経営者向けの勉強会・視察等開催</p>
<p>地域経済団体との連携</p>	<p>地域のお祭りや行事への参加</p>
<p>台風、新型コロナウイルスに係る資金繰り支援</p>	<p>職場体験受入</p>
 <p>4 質の高い教育を みんなに</p> <p>人材の育成</p>	 <p>15 陸の豊かさも 守ろう</p> <p>環境保全</p>
<p>資格取得のための補助支援</p>	<p>クールビズの実施</p>
<p>能力検定試験の実施</p>	<p>アサガオの苗を配布</p>
<p>外部講師を活用した研修の実施</p>	<p>苗木植樹</p>

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS





福島県商工信用組合

<http://www.fukushimakenshin.co.jp>

○本店営業部

〒963-8877 郡山市堂前町7番7号
☎024-991-1840

○朝日支店

〒963-8877 郡山市堂前町7番7号
☎024-938-7200 (本店営業部内)

○桜通支店

〒963-8015 郡山市細沼町10番11号
☎024-932-1702

○安積支店

〒963-0107 郡山市安積2丁目160番地
☎024-945-0691

○富久山支店

〒963-8071 郡山市富久山町久保田字久保田165番地5
☎024-923-4963

○日和田支店

〒963-8071 郡山市富久山町久保田字久保田165番地5
☎024-958-5055 (富久山支店内)

○コスモス通り支店

〒963-0204 郡山市土瓜1丁目63番地
☎024-963-1677

○本部

〒963-8877 郡山市堂前町7番7号
☎024-991-1000

○南福島支店

〒960-8151 福島市太平寺字町の内3番1
☎024-544-2318

○松川支店

〒960-1241 福島市松川町字鼓ヶ岡34番地の1
☎024-567-2349

○二本松支店

〒964-0906 二本松市若宮1丁目350番地
☎0243-22-3511

○本宮支店

〒969-1126 本宮市本宮字馬場27番地9
☎0243-34-2156

○常葉支店

〒963-4602 田村市常葉町常葉字中町60番地1
☎0247-77-2240

○須賀川支店

〒962-0842 須賀川市宮先町94番地
☎0248-75-4115

○石川支店

〒963-7844 石川郡石川町字北町16番地1
☎0247-26-2325

○鏡石支店

〒969-0401 岩瀬郡鏡石町不時沼226番地
☎0248-62-3335

○白河支店

〒961-0951 白河市字中町19番地3
☎0248-22-1235